



Hitachinaka Sightseeing Guide

茨城県ひたちなか市の見どころをぎゅっとまとめた観光ガイドです。



拡大-A ひたち海浜公園周辺



ひたちなか市エリアマップ



磯遊び王国ひたちなか

磯崎海岸から平磯海岸に広がる岩場は、カニ・ヒトデ・ヤドカリなど、たくさんの海の生き物に触れ合うことができる「磯遊び王国」です。春から秋にかけて磯遊びシーズンとなっていますので、天候・潮位を確認して親子でレットライ!!



ひたちなか市
磯遊び情報



【茨城県指定天然記念物】中生代白亜紀層(平磯白亜紀層)

磯崎海岸から平磯海岸にかけてみられるゴツゴツとした岩礁群の地層です。この地層からはアンモナイトの化石が発見されており、今から約7,500 万年前の白亜紀終末期の地層であることが確認されました。また、最近はこの地層から翼竜の肩甲骨も発見され、「ヒタチナカリユ」と命名されました。この地層一帯は県内有数のジオサイトとして注目を集めており、見学ツアー等も開催されています。



拡大図-B 那珂湊エリア



ひたちなか市
公式観光サイト





国営ひたち海浜公園

茨城県を代表する花と緑のテーマパーク。
春には、香り高いスイセンやカラフルなチューリップ、爽やかなブルーのネモフィラが見頃を迎え、大勢の観光客で賑わいます。中でも、みはらしの丘を埋め尽くすネモフィラは、空の青、海の青とのハーモニーが美しく、世界の絶景として人気を集めています。
夏に登場する新緑のコキア（ほうき草）は、秋になると紅葉し、丘一面を赤く染めます。真っ赤に燃えるみはらしの丘を一目見ようと、海外からも多くの観光客が訪れます。

チューリップ（見頃：4月上旬～4月下旬）



ネモフィラ（見頃：4月下旬～5月上旬頃）



紅葉コキア（見頃：10月中旬頃）

【所在地】ひたちなか市馬渡字大沼605-4 【休園日】月曜（祝日にあたる場合は翌平日・繁忙期は無休） 【公式HP】<http://hitachikaihin.jp>
【入園料】大人410円・小人80円・シルバー210円 ※駐車料金別途 【入園時間】9:30～17:00（季節による変動あり） 【TEL】029-265-9001

馬渡はにわ公園（花しょうぶ園）

5世紀末から6世紀末にかけて操業されていた埴輪製作遺跡で、現在は公園として整備され、市民に親しまれています。
毎年6月には花しょうぶが見頃を迎え、たくさんの方が訪れます。初夏の涼しげな花景色を、ぜひ一度ご覧ください。

【所在地】ひたちなか市馬渡2881-3
【入園料】無料（無料駐車場あり）

花しょうぶ（見頃：6月中旬頃）



Food

ほしいも（乾燥いも）

ひたちなか市は、生産量日本一を誇る「ほしいも王国」です。地元で収穫されたサツマイモを蒸して、じっくりと天日乾燥させたほしいもは、無添加なので子どものおやつにも安心。食物繊維もたっぷりで、ヘルシースイーツとしても人気を集めています。
ジェラートやマドレーヌなど、ほしいもをふんだんに使ったスイーツが充実しているのも、ほしいもの本場・ひたちなか市ならではの。



ひたちなか市の
お土産は、ほしいもが
定番ですよ？

那珂湊おさかな市場

水揚げされたばかりの新鮮な魚介類を求め、県内外から年間100万人以上の観光客が訪れます。
旬のネタを味わえる寿司や、海の幸たっぷりの海鮮丼を心ゆくまま堪能できます。お土産には、丹精込めて作られた干物がおすすめです。



【所在地】ひたちなか市湊本町19-8
※定休日及び営業時間は店舗によって異なります。



あんこう鍋

あんこうは、「西のふく・東のあんこう」と呼ばれ、茨城の冬を代表する味覚として親しまれています。脂肪が少なく低カロリーで、コラーゲンが豊富に含まれているため、アンチエイジング効果が期待されています。
あんこうの旨味がぎゅっと詰まったあんこう鍋は11月～3月頃にかけて市内の旅館・民宿や魚料理を扱う飲食店等で味わうことができます。



那珂湊焼きそば

もっちりとした食感の手延べせいろ蒸し麺が魅力のご当地グルメで、食の祭典「B-1グランプリ」にも出場しています。50年以上前から地元で愛されている、ひたちなか市民のソウルフードです。

こちらも
要Check！

那珂湊焼きそば
大学院HP





ROCK IN JAPAN FESTIVAL

言わずと知れた日本最大の野外音楽フェスティバル。
アーティスト達の熱いパフォーマンスはもちろん、地元食材を使った
フェス飯や参加者限定の宿泊施設「CAMP VILLAGE」も要Check！
※詳細は公式HP（<http://rijfes.jp>）をご覧ください。



ひたちなか祭り

ひたちなか市を代表する市民祭りで、夏の風物詩
として親しまれています。山車・神輿パレードや
ダンスパレードコンテストなど、世代を問わず楽
しめるイベントが多数開催されます。

ひたちなか祭り花火大会

ひたちなか祭り初日を飾る花火大会。
客席の目の前で打ち上げられる花火と
音楽の競演を楽しむことができます。

【開催時期】8月中旬頃

【開催場所】勝田駅周辺（花火大会は陸上自衛隊勝田駐屯地）



阿字ヶ浦海岸花火大会

潮風を感じながら、広い砂浜でのんびり
花火を楽しむことができます。波の音を
聴きながら観る花火は格別です。

【開催時期】7月下旬頃

【開催場所】阿字ヶ浦海岸



那珂湊海上花火大会

那珂湊漁港で開催される、港町の風情あふれる花火
大会。名物「水中スターマイン」は水面に光の花を
咲かせ、幻想的な美しさで観客を魅了します。

【開催時期】8月上旬頃

【開催場所】那珂湊漁港



みなと八朔まつり（天満宮御祭礼）

那珂湊天満宮の祭りとして古くから行われており、
昭和55年（1980年）には市指定無形民俗文化財に
登録されました。神輿が威勢よく海に飛び込む「お
浜入り」は、その迫力で観客を圧倒します。

【開催時期】8月上旬頃（隔年開催）

【開催場所】那珂湊地区（天満宮ほか）



Railway

ひたちなか海浜鉄道 湊線

ひたちなか海浜鉄道湊線は、大正2年（1913年）に運行を開始した歴史あるロー
カル線で、レトロな雰囲気が世代を超えて愛されています。映画「フラガール」
をはじめ、ドラマ・CM等のロケーションとしても数多く起用されています。
那珂湊駅は、築100年を超えた趣のある木造駅舎が魅力的で「関東の駅百選」に
選出されています。また、駅名標は各駅の名物や特徴をモチーフにしたイラスト
が描かれており、親しみのあるデザインが世代を超えて支持されています。



那珂湊おさかな市場



那珂湊駅から徒歩約10分

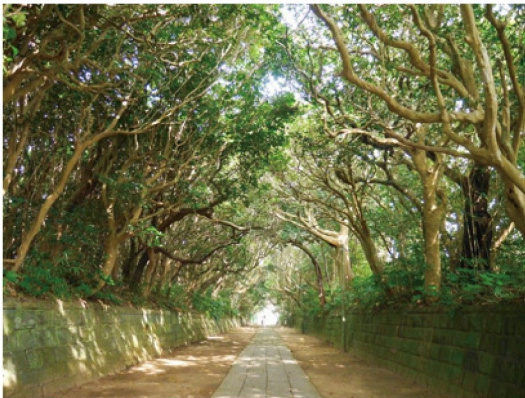
GOOD DESIGN AWARD 2015

ひたちなか海浜鉄道湊線の駅名標は、2015年度
グッドデザイン賞を受賞しました。

いひんかくあと 夤賓閣跡（湊公園）

水戸藩2代藩主徳川光圀公の命により元禄11年（1698年）
に建設された水戸藩別邸。光圀公をはじめ、斉昭公など
歴代の藩主も訪れ、宴席や詩歌の会が催されました。
建物は元治元年（1864年）の騒乱で焼失してしまいまし
たが、現在は湊公園として市民に親しまれています。
公園内には、光圀公が須磨明石（兵庫県明石市）から取り
寄せたとされる樹齢300年を超える立派な枝ぶりの黒松
が生育しています。

【所在地】ひたちなか市湊中央1-1



さかつらいそさきしんじや 酒列磯前神社

斉衡3年（856年）12月、大洗磯前の海岸に神が降臨し、
大洗とこの酒列磯前に社を営んだと伝えられています。
約300m続く参道の樹叢は県指定天然記念物に認
定されており、フォトジェニックなパワースポット
として人気を集めています。

【所在地】
ひたちなか市磯崎町
東の四4607-2



那珂湊駅から
徒歩約15分



かつたえき
勝田駅

につこうまええき
臼工前駅

かねあげえき
金上駅

なかねえき
中根駅

たかだのてつきょうえき
高田の鉄橋駅

なかななどえき
那珂湊駅

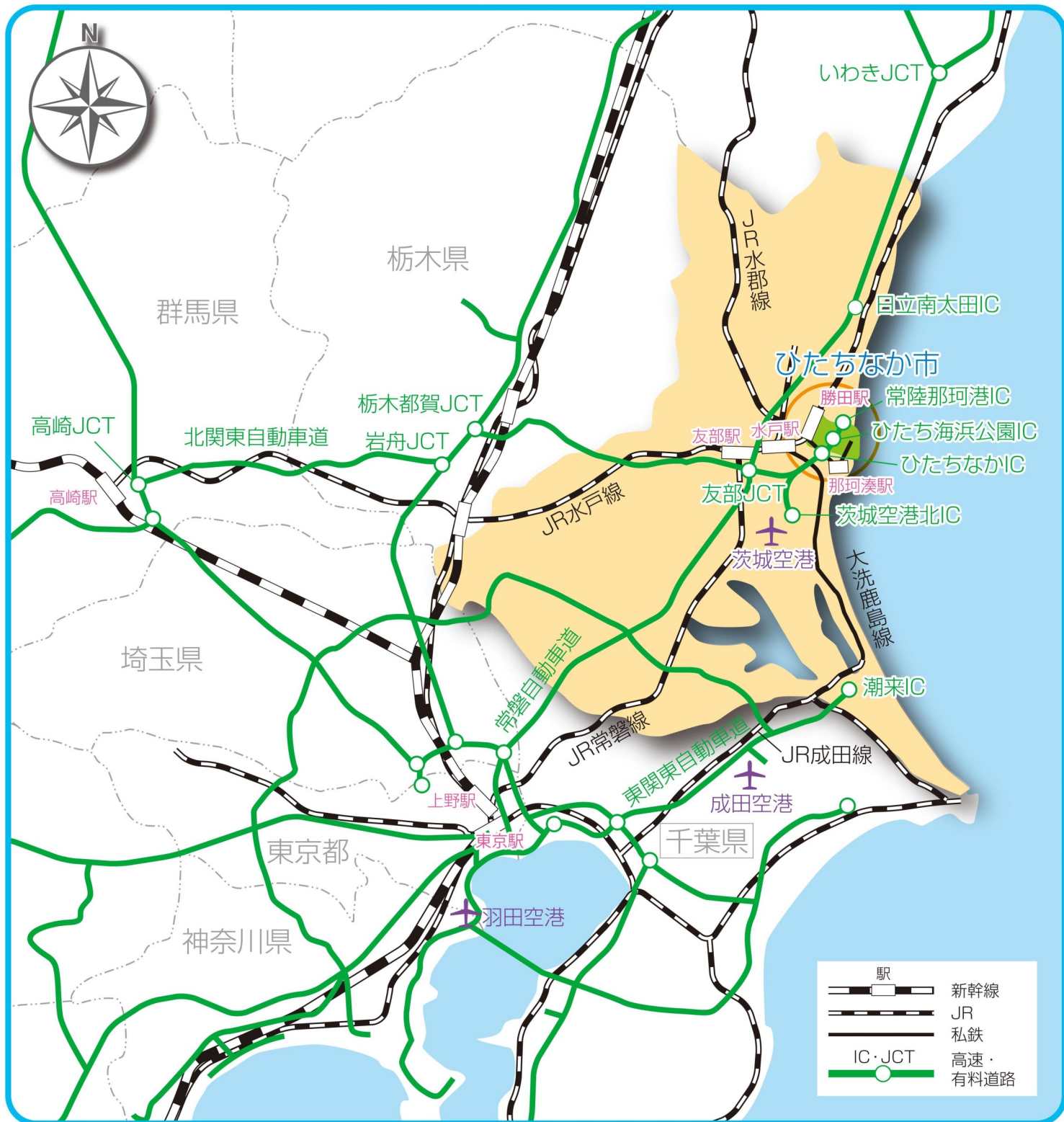
どのやまえき
殿山駅

ひらいそえき
平磯駅

いそざきえき
磯崎駅

あじがうらえき
阿字ヶ浦駅

ひたちなか市への交通アクセス



自動車

東京方面から

首都高速－常磐自動車道（三郷JCT－友部JCT）－北関東自動車道－東水戸道路（ひたちなかIC） 車で約1時間30分

いわき方面から

常磐自動車道（いわき中央IC－日立南太田IC）－ひたちなか市車で約1時間

栃木方面から

北関東自動車道（栃木都賀JCT－友部JCT）－東水戸道路（ひたちなかIC） 車で約1時間

鉄道

東京方面から

JR 常磐線（東京）－（勝田）特急で約1時間20分

いわき方面から

JR 常磐線（いわき）－（勝田）特急で約1時間

